※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　家庭科

教科	家庭(専)	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「保育基礎」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもとかかわる意欲や能力、実践的な態度を身につける。
・子どもの発達過程や生活の特徴を保育と関連付けて体系的に学習し、子どもの姿全体を捉えられるよう学習する。
・子どもを育てる職業人としての意識を高めることをめざし、子どもと触れ合う具体的な方法を学び、子どもの遊びや表現活動に関する実習を行う。

２　学習の到達目標

保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着ける。子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を習得し、子どもの福祉と文化に関する基本的な事項について理解している。 子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見出している。思考を深め、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に判断し、解決する力を身につけている。	子どもの健やかな発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。保育に主体的かつ共同的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの保育	1. 保育の意義 2. 保育の方法 3. 保育の環境	a:子どもにとって自分は保育者(大人)であることを理解し、自らの果たすべき役割について考えようとしている。保育の意義や重要性について理解している。 b:集団保育・家庭保育、それぞれの場面での子どもとの適切な関わり方について具体的に考え、まとめることができる。 c:子育て支援の課題と展望についてまとめたり、発表したりしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント
	子どもの発達	1. 子どもの発達の特性 2. 子どものからだの発達 3. 子どもの心の発達	a:子どもの身体的・精神的な発達の特徴について理解している。乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。 b:現代における発達観を踏まえて，自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察している。 c:発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察できる。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント レポート
2学期	子どもの生活	1. 子どもの生活と養護 2. 生活習慣の形成 3. 健康管理と事故防止	a: 子どもの生活と養護について理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けている。 b:子どもの生活と適切な養護について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 c: 子どもの生活と養護について、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。	定期考査 実習	定期考査 授業プリント	授業プリント 実習レポート
	子どもの文化	1. 子供の文化と意義を支える場 2. 子どもの遊びと表現活動	a:子どもの文化、遊びと表現活動について理解し、関連する技術を身に着けている。 b:子どもの健やかな発達と促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 c:子どもの文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査 実習	定期考査 授業プリント 実習レポート	授業プリント 実習レポート
3学期	子どもの福祉	1. 子ども観 2. 子どもの福祉 3. 子育て支援	a:児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解している。 b:子どもの福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 c:子どもの福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度